

私の人生を変えた自転車事故

高齢女性

平成19年4月10日夕方、ゴミを出しに行ったあと、いつものように散歩をしているときでした。港に行くのに細い道を歩いていると、いきなり「ドン」と後ろから衝撃を受けたのです。

何が何だかわからないうちに前のめりに道路へ倒れ、気が付くと、私の体の上には自転車ごと小学生くらいの男の子が乗っかっていたのです。起き上がろうとしたら左足に激痛が走り、起き上がることもできず救急車で病院に運ばれ、そのまま手術、入院となりました。左足の大腿骨が折れていて1ヶ月の入院となってしまったのです。

事故から3年以上経った今でも、私の左足には手術の時に入れられた金属が残っていて、横になると布団に金属が当たって、嫌でも事故のことを思い出してしまうのです。

事故以来、足が不自由になって、長い時間立っていることや歩く事もままならず、朝、歯を磨く時でも洗面所に寄りかからなければ歯を磨くこともできません。何をやるにしても時間がかかってしまい、こんな自分の体が情けなく、泣きたくなくなってしまふこともあります。

先日も家の中で歩いているとき、何でもないところでつまずいて転んでしまい、腰の骨や手の骨を骨折して、また入院してしまいました。

今では1日のほとんどをベッドに腰掛けテレビを見ているだけの不自由な生活になってしまいました。家族にも迷惑をかけ、申し訳ない気持ちでいっぱいです。以前はどこに行くにも自転車に乗って自由に出かけることができたのですが、今では友達に会いに行くこともできません。

相手の自転車は保険を掛けていなかったそうです。補償金の工面がなかなかできなかったようで、学校で掛けていた子供の傷害保険を使って、なんとか出してもらいました。医療費をまかなえる程度でしたが、相手の苦労もわかっていましたので、それで示談としました。

相手の男の子に対しては、事故を起こしたくて起こしたわけではないので憎む気持ちはありませんが、私と同じような目にあう人がないように、自転車に乗る人は十分に注意して運転してもらいたいと思います。

最近自転車と歩いている人がぶつかる事故が多いと聞いていますが、曲がり角や狭い道など、少しでも危ないと思ったら、面倒くさがらずに自転車を降りて注意して通行してもらいたいと思います。

私は歩いて友達に会いに行くことはできませんが、生きていれば、元気でいれば、友達が来てくれて、話し合い、笑うこともできます。家にこもりっぱなしだと3日でぼけてしまうとも聞いています。なるべく足を動かすようにして、不自由な生活の中でも楽しみを見つけて生きていきたいと思っています。私のような被害に遭う人が、一人でも少なくなるように願っています。